

(9) 教育費

事業名	英語指導員招致事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費				14,857,342 円	事業の目的・目標	市内小中学校の外国語教育の充実を図るため、外国から指導助手を招致し、外国語指導を行うことを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			11,700,000 円				
	その他			918,972 円				
	一般財源			2,238,370 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

外国語指導助手が市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行った。生の英語に接することで、英会話への意欲・ヒアリング能力・英会話能力の向上につながり、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図るなどの姿が見られた。授業以外の時間も児童生徒と共に過ごし、生活時間を通じて、外国への興味・関心が高まり、国際的視野を広げる等の効果があった。また、スピーチコンテストや英語検定受検者への指導も行った。

●小学校・学年別訪問授業時数 712 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1年生	3	8	1	8			
2年生	3	7	1	8			
3年生	6	10	11	8	2	6	
4年生	6	10	11	9		8	
5年生	34	34	38	38	75	35	35
6年生	34	33	36	36	75	35	35
特別支援学級				8		2	
その他全校行事等					3		
合計	86	102	98	115	155	86	70

●中学校・学年別訪問授業時数 1,110 時間

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1年生	110	48	149	60
2年生	108	42	182	42
3年生	105	35	118	51
特別支援学級	12	31	2	8
その他全校行事等				7
合計	335	156	451	168

○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報酬	10,404,308	外国語指導助手報酬 (3名)
共済費	1,557,399	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
報償費	2,970	帰国記念品
旅費	624,890	市内旅費・帰国旅費
需用費	49,290	授業用消耗品ほか
役務費	83,710	傷害保険料 (3名分) ほか
使用料及び賃借料	1,751,760	住宅借上料
負担金補助及び交付金	383,015	自治体国際化協会負担金 ほか
合計	14,857,342	

事業名	江津市教育研究会助成事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		管理係		目	02	事務局費	
事業費			5,692,000 円		事業の目的・目標	「生きる力」をはぐくむ教育を実践するため、教科部会・専門部会等により組織的活動や各種事業を行い、本市の教育の発展に寄与する。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		5,100,000 円					
	その他		円					
	一般財源		592,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容および実績

●小学校外国語活動充実事業

- ①小学校外国語活動先進校視察 ①雲南市立吉田小、中学校 ②京都市立光華小学校 計14名参加
 ②研修会の実施 ①川波小学校 公開授業 (H29.11.28)
 ②津宮小学校 公開授業 (H30.1.31)
 ③小学校英語活動実践研究協議会へ参加し、教員の資質向上を図る
 H30.2.9 京都府京都市 参加者1名

●中学生キャリア教育推進事業 (H29.8.2 市民センター)

- 「思うは招く」～夢があれば何でもできる～
 講師 植松電機 代表取締役社長 植松 努
 対象 市内中学生 591人

●江津市教職員資質向上研修

- ・実施日時及び場所
H30.1.26 江津市立川波小学校にて実施
- ・実施内容
江津市校長会主催による 授業研究会、指導助言及び講義を開催した。
 ①授業研究会 授業者 川波小学校 小川教諭
 5年 算数科 単元 「比べ方を考えよう」
 ②「新学習指導要領が目指すこれからの算数授業」
 就実大学教育学部初等教育学科 准教授 楠 博文講師

●事業費用

項目	決算額 (円)
1. 島根県小学校校長会負担金補助	147,000
2. 島根県中学校校長会負担金補助	84,000
3. 島根県幼稚園教育研究会・全国国公立幼稚園長会負担金	19,000
4. 生徒指導研修会補助金	20,000
5. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	256,000
6. 江津市教育研究会研究補助	331,000
7. 児童文化振興費補助金	209,000
8. 小中音楽会児童生徒輸送費、楽器運送費会場借上料補助	370,000
9. 教職員研修会補助金	10,000
10. 校内研修会補助金	36,000
11. 江津市学校保健会補助金	160,000
12. 島根県学校保健会補助金	20,000
13. 「江岸の子ら」編集補助	230,000
14. 江津市中学生英語ワークショップ事業費補助金	160,000
15. 江津市中学校職場体験事業補助金	120,000
16. 総合学習に伴う補助金 (小・中)	495,000
17. 総合学習に伴う補助金 (幼)	18,000
18. 江津市小中学校資質向上研修補助	800,000
19. 中学校キャリア教育推進事業	1,000,000
20. 小学校外国語活動充実事業補助	510,000
21. 情報講習会開催補助金	450,000
22. 人権・同和教育推進活動費	247,000
合計	5,692,000

○事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きい。そしてその能力は研修等を通じて生涯にわたり形成されていくものであり、本事業はその意味において重要である。

事業名	不登校等支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費
事業費			8,595,525 円	事業の目的・目標	あおぞら学園において、不登校及び不登校傾向の児童生徒の教育相談や学習支援を行い、学校生活への復帰を支援するとともに、不登校の中でも、家に引きこもっていることが多い児童生徒に対しては、家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供する等の支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		5,912,954 円				
	一般財源		2,682,571 円				

施策の内容、実績、及び効果

1. 教育支援センター（適応指導教室）運営事業

○事業の内容

- 運営体制 教科指導員5名・指導員7名
- 開設場所 あおぞら学園（江津保健センター内）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9:30～16:00

- 主な内容
 - ・不登校児童生徒の在籍校、家庭や関係機関と連携しながら、集団生活への適応、基本的な生活習慣の改善等に取り組み、学校復帰への支援を行う。
 - ・児童生徒の抱える悩みに寄り添い、教科指導や活動体験、相談等を通して居場所作りを行うことで児童生徒の心の安定を図り、自己理解を図るとともに保護者の支援を行う。

- 事業効果
 - ・集団生活や学習に取り組む活動支援を実施した結果、週1時間以上の登校ができるようになった。
 - ・適応指導教室（あおぞら学園）への通園日数は、指導要録上は出席扱いとなる。
 - ・定期的に在籍校と支援方法等を検討する機会を設け、学校復帰へつなげることができた。
 - ・家に引きこもりがちな児童生徒が、外に出るきっかけとなり、居場所づくりとなった。
 - ・保護者の抱えている悩みに向き合い、同じ思いで継続して関わることで、児童生徒の心の安定を図ることができた。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	857,723	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	6,223,622	謝礼金（教科指導員・相談員・指導員・支援員）
報償費	28,000	体験活動謝礼金
旅費	248,290	生徒指導連絡会・他施設との交流会・家庭訪問等
需用費	986,703	消耗品・燃料費・光熱水費
役務費	134,575	電話料・インターネット利用料
使用料及び賃借料	116,612	AED借上げ料ほか
合計	8,595,525	

事業名	学校司書等配置事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費
事業費			10,245,790 円	事業の目的・目標	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を目指す。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		4,850,000 円				
	地方債		円				
	その他		5,325,907 円				
	一般財源		69,883 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

市内全小・中学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒へ本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図る。また、学校図書館を活用した授業の実施のため、司書教諭と連携し資料準備等を行う。

●事業実施校 市内の全小・中学校

- ① ボランティア【配置時間 1時間/日×5日/週×35週】 2校
江東中学校・桜江中学校
- ② 学校司書等A【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・江津中学校・青陵中学校
- ③ 学校司書等B【配置時間 6時間/日×5日/週×52週】 1校
津宮小学校

○事業の効果

学校司書等による読書活動への取組みが効果的な学校図書館の活用へ繋がっている。全小中学校で学校司書等による学校図書館の利用指導やオリエンテーションを行っており、一斉読書、読み聞かせ、推薦図書の選定紹介など、さまざまな工夫を凝らして読書活動定着に向けた取り組みを行っている。また、図書室や廊下等に本を紹介する掲示をし、学級文庫への貸し出しを行うなどして本を身近に感じられるような取り組みをした。司書教諭（学校図書館担当教諭）と学校司書の連携を深め、授業における活用を進めることにより、情報センターとしての学校図書館の可能性が広がりつつある。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報酬	1,696,200	司書B報酬（1名）
共済費	370,380	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	7,723,100	司書A賃金（8名）
謝礼金	389,400	ボランティア謝礼金（2名）
旅費	66,710	司書研修（浜田教育センター等）
合計	10,245,790	

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費		1,144,170 円		事業の目的・目標	不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には、本人の心の問題だけでなく、複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の心に寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して家庭に働きかけ、状況の改善を図ることで健全な育成を図る。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	1,144,000 円						
	地方債	円						
	その他	円						
	一般財源	170 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名
- 配置形態 派遣型
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会の指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、学校や家庭訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容
 - ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
 - ・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整
 - ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業の効果

- ・問題を抱える児童生徒の家庭を訪問し、学校や適応指導教室へ向かうよう支援した。
- ・学校や関係機関等とのケース会議に参加し、保護者や児童生徒の思いや状況を伝え、環境の改善へつなげることができた。
- ・悩みを抱えている保護者と向き合い、前向きな気持ちで子どもと接することができるよう支援した。
- ・複雑な背景を抱えている児童生徒の家庭に対して、関係機関と連携し、問題解決のためのネットワークづくりを行った。

○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
賃金	1,078,000	相談員(1名)賃金
旅費	66,170	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
合計	1,144,170	

事業名	指導主事配置事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費
事業費			12,119,102 円	事業の目的・目標	①生徒指導主事1名を配置し、課題（不登校、いじめ等）を持った児童生徒の支援及び当該学校の支援・指導を行い、健全な学校経営の支援を行う。 ②算数・数学科と英語科の指導主事各1名を配置し、算数・数学、英語を中心に教員の授業力向上を図り、児童生徒の学力育成につなげる。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		7,800,000 円				
	その他		円				
	一般財源		4,319,102 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

業務内容	小学校訪問回数	中学校訪問回数	合計
生徒指導支援の学校訪問	75 回	133 回	208 回
授業力向上の学校訪問	176 回	141 回	317 回

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
旅費	248,570	学校訪問、諸会議、研修等
消耗品費	42,532	教材、教育資料等
負担金補助及び交付金	11,828,000	指導主事派遣負担金
合計	12,119,102	

○事業の効果

- ①家庭への働きかけが必要な児童生徒については校長会や教育支援センター等関係機関との情報共有を元に、スクールソーシャルワーカーと連絡調整を行いながら対応することができた。
- ②不登校（傾向）の児童生徒への対応については学校や関係機関と連携し、不登校状態の改善が見られる等の事例があった。
- ③小中学校への訪問指導を通して、江津市学力育成サイクルプラン確立のため、継続的な助言・指導を行った。新学習指導要領で求められている学力を育成するために、各学校が策定している「授業改善アクションプラン」に基づいた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や「めあてとふりかえり」の必要性について、指導・助言を行った。
- ④全国学力・学習状況調査や県学力調査の結果を活用して各学校で「授業改善アクションプラン」の策定、実施、その検証方法についても学校訪問時に繰り返し説明したことで、各学校PDCAが好循環で回り始め、授業改善が行われている。また、学力育成管理職研修会を開催し、カリキュラム・マネジメントの視点から学校教育課題の解決を行う研修を続けたことにより、組織的な改善が進みつつある。
- ⑤平成30年度より教科化となる「特別の強化 道徳」（中学校は平成31年度より）と小学校外国語活動に係る授業力向上に向け重点的な訪問指導、授業研修等を行った。

事業名	スクールバス運行事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	小学校費
担当部署	学校教育課		管理係		目	01	学校管理費	
事業費			33,776,812 円		事業の目的・目標	市内小学校の遠距離通学児童の通学手段を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。		
財源内訳	国庫支出金		1,430,000 円					
	県支出金		円					
	地方債		13,800,000 円					
	その他		円					
	一般財源		18,546,812 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域
郷田小	2	松川町、川平町
江津東小	2	黒松町、波積町、都治町、後地町、浅利町
川波小	1	有福温泉町
桜江小	4	桜江町
津宮小	1※	千田町、跡市町

※29年度に津宮小バス整備（青陵中学校生徒混乗バスとして整備）

●経費内訳

・需用費	4,314,425 円	（燃料費、修繕料等）
・役務費	954,807 円	（車検手数料、保険料等）
・委託料	25,964,280 円	（スクールバス運行委託料）
・備品購入費	2,376,000 円	（津宮小スクールバス購入）
・公課費	167,300 円	（自動車重量税）
計	33,776,812 円	

○事業の効果

郷田小学校区、江津東小学校区、津宮小学校区、川波小学校区、桜江小学校区の遠距離通学児童の安全な通学を確保している。

小学校スクールバス路線図



事業名	小学校施設耐震化事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 29 年度	事業進捗率 10 %		項	02	小学校費
担当部署	学校教育課	管理係		目	01	学校管理費
事業費		4,099,600 円	事業の目的・目標	渡津小学校屋内運動場は昭和47年に建設されていることから、老朽化対策が必要である。 屋体については、耐震診断を実施していないことから、早期に診断を実施し施設の補強が必要か判定を行い、施設の安全性を確保する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源	4,099,600 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

耐震性能未診断である渡津小学校屋内運動場について、安心・安全な教育環境を確保するため、耐震診断・判定業務を行った。

●建築物の概要

施設 渡津小学校屋内運動場
 構造 鉄骨造 地上1階
 面積 544㎡
 竣工 昭和47年

●事業費

渡津小学校屋内運動場耐震診断業務委託料 3,855,600円

渡津小学校屋内運動場耐震診断判定手数料 244,000円

○事業の効果

●診断結果

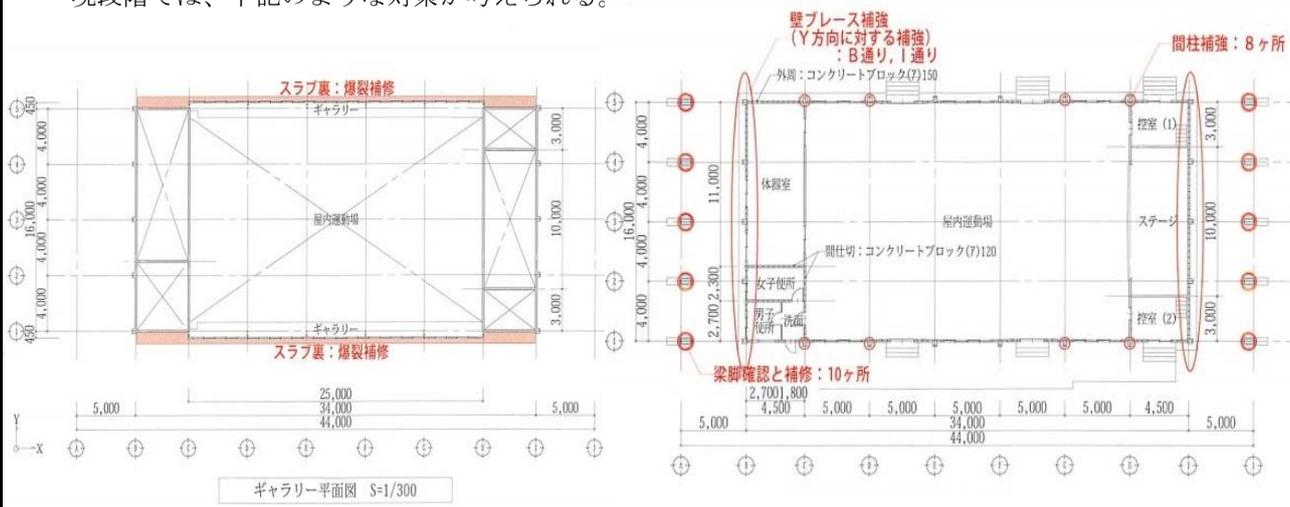
補強を要する。(耐震性能 I_s 値 0.22)

渡津小学校屋内運動場については、今年度行った耐震診断の結果を踏まえ、安全・安心な教育環境を早期に確保するため、次年度において補強計画の策定を行っていく。

また、補強の他、脚部の腐蝕、ギャラリー床スラブの軒裏部の爆裂が見られ早急な補修が必要であり、施設の老朽化のリフレッシュが必要であることが本調査で判明した。

●補強計画(案)について

現段階では、下記のような対策が考えられる。



事業名	統合西部小学校建設事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 28 年度	事業進捗率 5 %		項	02	小学校費
担当部署	学校教育課	管理係		目	01	学校管理費
事業費		10,333,440 円	事業の目的・目標	平成27年度に実施した西部統合小学校適地選定業務の結果を踏まえ、統合小学校の規模機能・導入施設を整理し、決定した青陵中学校敷地を中心とした利用配置計画及び敷地造成計画の検討を行い、基本計画として取りまとめる。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	10,333,440 円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

本市の津宮小学校、川波小学校を統合して青陵中学校敷地に新しく統合小学校を整備することを踏まえ、施設の規模機能・導入施設を整理し、利用配置計画及び敷地造成の計画の検討を行い、基本計画として取りまとめた。

●事業費

(仮称) 江津市立西部統合小学校 基本計画策定業務 10,333,440 円

○事業の効果

基本計画の策定によって、学校建設にあたっての基本的な考え方を整理することができた。また、事業期間や概算事業費などを把握し、今後の事業化に向けた進捗が図られた。



←西部統合小学校 基本計画報告書

【基本計画による統合小学校のイメージ図】



事業名	小学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	小学校費
担当部署	学校教育課		管理係・学事係		目	02	教育振興費	
事業費		39,253,770 円		事業の目的・目標	小学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な児童及び特別支援学級へ就学する児童への援助、図書や教材の購入を行う。			
財源内訳	国庫支出金	959,000 円						
	県支出金	円						
	地方債	1,100,000 円						
	その他	16,660,940 円						
	一般財源	20,533,830 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●就学援助事業

区分	決算額(円)	備考
学用品費等	2,788,693	対象人員 145 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	771,400	対象人員 19 人 平成30年度入学予定児童対象
学校給食費	6,706,090	対象人員 143 人
生徒会・PTA会費	522,460	対象人員 131 人
医療費	179,296	対象人員 29 人
特別支援教育費	677,950	対象人員 19 人
合計	11,645,889	

●小学校教育用コンピュータ整備事業

- ・コンピューター借上料 14,420,592円

●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	97,500	入学祝
需用費	1,618,587	教師用教科書・教師用指導書・消耗品
委託費	3,792,615	配信プリントシステム委託料・LAN配線委託料
備品購入費	7,678,587	図書購入費・教材購入費
合計	13,187,289	

○事業の効果

就学援助における新入学用品費は、これまで入学後に認定し支給していたが、入学予定児童に対して入学前支給をすることにより、経済的な理由によって就学困難な世帯の入学時の負担を軽減した。

また、市内7小学校に、パソコン、ソフト等をリースで設置することによりパソコンの基本操作に慣れ、インターネット等を使って必要な情報を収集して学習に役立てた。デジタル教科書など電子教材を使った授業等により児童の関心を高めることができた。

事業名	中学校管理費（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 28 年度	事業進捗率 100 %		項	03	中学校費
担当部署	学校教育課 管理係			目	01	学校管理費
事業費		31,213,080 円	事業の目的・目標	学校施設の構造体ではない天井材や照明器具、内・外装材などの非構造部材について、地震による被害が発生している状況下において、致命的な事故が発生しないよう、屋内運動場などの天井等の落下防止対策を講じて安全性を確保する。		
財源内訳	国庫支出金	10,923,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	20,200,000 円				
	その他	90,080 円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

●事業対象となる施設の要件

(天井) 以下①、②のいずれかに該当する天井
 ① 高さが6mを超える天井
 ② 水平投影面積が200㎡を超える天井
 (照明器具・バスケットゴール等) 以下①、②のいずれかに該当するもの
 ① 高さが6mを超える空間に設置されているもの
 ② 床面積が200㎡を超える空間に設置されているもの

●実施校

平成28年度に実施した設計に基づき、青陵中学校屋内運動場1階武道場及び多目的ホールの天井撤去の他、屋体アリーナの照明器具やバスケットゴールの落下対策工事を行った。

●事業費

青陵中学校屋内運動場非構造部材耐震改修工事 31,213,080円

○事業の効果

青陵中学校屋内運動場（武道場及び多目的ホール）における天井撤去のほか非構造部材の耐震補強工事を完了し、施設の安全性を確保した。

- 1階武道場の天井を撤去し、落下の危険性を回避
- 2階アリーナのバスケットゴール及び照明器具を補強、またLED照明へ更新



事業名	スクールバス運行事業（中学校）		予算科目	会計	01	一般会計		
事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	%	款	10	教育費
担当部署	学校教育課			管理係	項	03	中学校費	
事業費	19,413,979 円			事業の目的・目標	目	01	学校管理費	
財源内訳	国庫支出金	2,560,000 円	市内中学校の遠距離通学生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。					
	県支出金	円						
	地方債	5,900,000 円						
	その他	744,600 円						
	一般財源	10,209,379 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域
江津中	※	松川町、川平町
青陵中	1	有福温泉町
桜江中	1	桜江町

※江津中は郷田小学校のスクールバスを利用

※青陵中スクールバス2台のうち1台は津宮小スクールバス（青陵中混乗）として更新

●住民利用

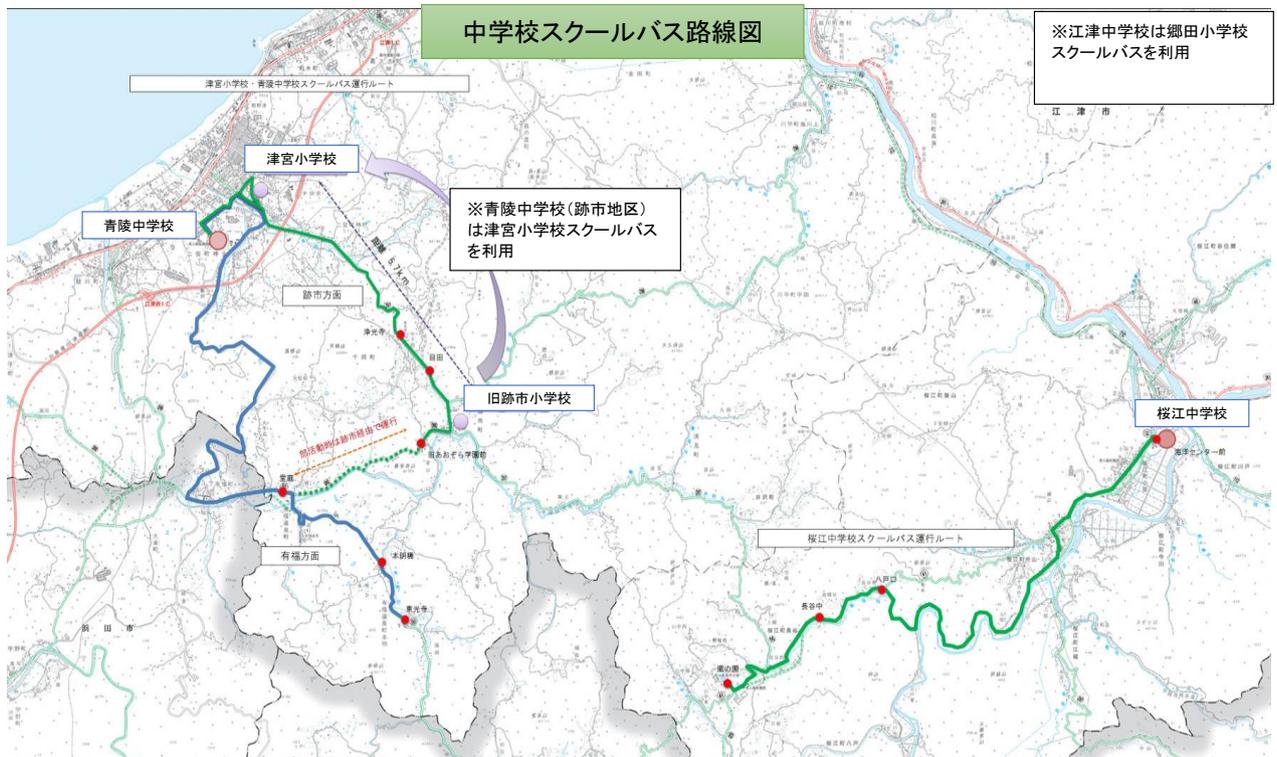
- ・利用車両 桜江中バス
- ・区間 川戸駅～風の国
- ・利用者数 3,145 人
- ・運賃収入 744,600 円

●経費内訳

- ・需用費 1,734,238 円（燃料費、修繕料等）
 - ・役務費 426,661 円（車検手数料等）
 - ・委託料 12,439,980 円（スクールバス運行業務委託料）
 - ・賃借料 16,000 円（建物敷地使用料）
 - ・備品購入費 4,752,000 円（青陵中学校スクールバス購入）
 - ・公課費等 45,100 円（自動車重量税等）
- 計 19,413,979 円

○事業の効果

江津中学校区、青陵中学校区及び桜江中学校区の遠距離通学生徒の安全な通学を確保している。
また、桜江地区住民の交通手段を確保することで、日常生活の利便性が図られている。



事業名	中学校教育施設耐震化事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 29 年度	事業進捗率 30 %		項	03	中学校費
担当部署	学校教育課 管理係			目	01	学校管理費
事業費		1,922,400 円	事業の目的・目標	学校施設の構造体ではない天井材や照明器具、内・外装材などの非構造部材について、地震による被害が発生している状況下において、致命的な事故が発生しないよう、屋内運動場などの天井等の落下防止対策を講じて安全性を確保する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	1,922,400 円				
施策の内容、実績、及び効果						
○事業の内容及び実績						
●事業対象となる施設の要件						
<p>(天井) 以下①、②のいずれかに該当する天井</p> <p>① 高さが6mを超える天井</p> <p>② 水平投影面積が200㎡を超える天井</p> <p>(照明器具・バスケットゴール等) 以下①、②のいずれかに該当するもの</p> <p>① 高さが6mを超える空間に設置されているもの</p> <p>② 床面積が200㎡を超える空間に設置されているもの</p>						
●実施校						
江津中学校屋内運動場1階武道場の天井撤去の他、屋体アリーナの照明器具やバスケットゴールの落下対策に係る実施設計を行った。						
●事業費						
江津中学校屋内運動場非構造部材耐震改修工事实施設計業務 1,922,400円						
○事業の効果						
江津中学校屋内運動における非構造部材の耐震改修計画を予定通り策定した。						

事業名	中学校教育振興費		予算科目	会計	01	一般会計		
				款	10	教育費		
事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	%	項	03	中学校費
担当部署	学校教育課			管理係・学事係	目	02	教育振興費	
事業費		31,404,460 円		事業の目的・目標	中学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な生徒及び特別支援学級へ就学する生徒への援助及び図書や教材の購入を行う。			
財源内訳	国庫支出金	463,000 円						
	県支出金	円						
	地方債	1,100,000 円						
	その他	11,100,000 円						
	一般財源	18,741,460 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●中学校就学援助事業

区分	決算額(円)	備考
学用品費等	3,803,633	対象人員 90 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	1,090,200	対象人員 23 人 平成29年度入学予定生徒対象
学校給食費	4,392,600	対象人員 87 人
生徒会・PTA会費	704,100	対象人員 90 人
医療費	37,504	対象人員 6 人
特別支援教育費	326,635	対象人員 6 人
合計	10,354,672	

●中学校教育用コンピュータ整備事業

- ・コンピューター借上料 12,295,152円

●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	208,565	卒業記念品
需用費	514,612	消耗品・楽器の修繕料
委託費	388,800	配信プリントシステム委託料
備品購入費	7,403,709	図書購入費・教材購入費
負担金補助及び交付金	238,950	桜江中学校遠距離通学生徒通学費補助金
合計	8,754,636	

○事業の効果

就学援助における新入学用品費は、これまで入学後に認定し支給していたが、入学予定生徒に対して入学前支給をすることにより、経済的な理由によって就学困難な世帯の入学時の負担を軽減した。

また、市内4中学校にパソコン、学習用ソフト等をリースにより設置し、パソコンの特性を踏まえ、インターネット等から得た情報を学習に役立てた。

事業名	公民館費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 100 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	02	公民館費
事業費		3,502,743 円		事業の目的・目標	個人の要望と社会の要請に応えた学びの場を提供する。地域の社会教育施設としての機能を担保するための管理・運営を行う。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	3,502,743 円					

施策の内容、実績、及び効果

○ 事業の内容 公民館等施設の管理

○ 事業費の内訳等

費目	金額 (円)	備 考
光熱水費	74,926	波積ふれあいホール (電気、水道、ガス代)
修繕料	199,800	井沢清見会館グラウンド瓦礫撤去
手数料	13,797	波積ふれあいホール (汲み取り料)
火災保険料	13,620	井沢清見会館、波積ふれあいホール
委託料	334,800	井沢清見会館解体工事設計業務
土地借上料	59,960	井沢清見会館土地借上料 (3/31まで)
工事請負費	2,805,840	井沢清見会館解体工事
合計	3,502,743	

井沢清見会館解体工事施工前



井沢清見会館解体工事施工後



事業名	図書館運営事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	03	図書館費	
事業費					26,970,355 円	事業の目的・目標	市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書資料を収集整備し、市民に自由に公平な利用ができる場を提供する。	
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			2,499,978 円				
	一般財源			24,470,377 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

費目	金額 (円)	備 考
報酬	25,500	図書館協議会委員報酬
旅 費	4,180	図書館協議会委員旅費
需用費	1,120,406	光熱水費
役 務 費	12,204	自動車損害保険料
委 託 料	21,611,232	指定管理料
工事請負費	1,651,320	トイレ改修工事
備品購入費	2,499,978	図書購入費
負担金及び交付金	45,535	島根県公共図書館協議会会費等、川戸駅舎電気料負担金
合 計	26,970,355	

●蔵書冊数

区 分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	平成29年度末 蔵書冊数
本 館	69,418 冊	1,744 冊	369 冊	70,793 冊
桜江分館	17,623 冊	484 冊	2,176 冊	15,931 冊
計	87,041 冊	2,228 冊	2,545 冊	86,724 冊

●利用状況

区 分	本 館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	266 日	266 日	33 回	
入館者数	13,660 人	4,389 人		18,049 人
利用者数	8,711 人	1,591 人		10,302 人
登録者数	1,078 人	264 人		1,342 人
貸出冊数	42,321 冊	4,278 冊	101 冊	46,700 冊

●文化活動

講 座 等	会員数	開催日数	開催期日 または定例日
古文書入門講座 (休会中)	人	回	毎月第3土曜日 14:00~16:00
古文書を読む会	28 人	11 回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	12 人	11 回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
あすなろ読書会 (休会中)	人	回	毎月第2木曜日 14:00~16:00
本と子育てを語る会	8 人	8 回	毎月第4日曜日 13:30~16:00
としよ活	延べ50 人	12 回	毎月第3木曜日 19:00~20:30

●その他

・催し

8/6(日)・11(金)	読書感想文講座 (本館)	参加者 7人
8/27(日)	としよかん縁日 (本館)	参加者 40人
10/15(日)~30(月)	としよかんまつり (読書週間企画)	参加者 本館約50人、分館約20人
12/23(土)~1月初旬	福ぶっくろ	本館60袋、分館40袋

・広報活動

図書館報「洗心」・新着図書案内の発行 年12回
市広報「かわら版」への図書館ガイドを掲載 12回
ツイッター、防災無線、市HP、新聞イベント欄等での情報発信 (随時)

・その他

職場体験 (9/20~22) : 中学生2名
ボランティア: 読み聞かせ、事務補助 (延べ35回)
江津市図書館協議会 8/23(水) 委員7人出席

○事業の効果

図書購入費が増額となり、蔵書の充実、文化活動への支援、広報活動等により、貸出冊数は増えており、図書館利用者の増加につながっている。

事業名	人権教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	05	社会教育費
担当部署	人権同和教育課		人権同和教育係		目	04	社会人権・同和教育費
事業費		388,907 円		事業の目的・目標	人権尊重、自由平等の精神を基盤に人権・同和問題を正しく理解し、市民一人ひとりが、自らの課題として捉え、早期解決が図られるよう「差別しない」「差別させない」「差別は許さない」心情と態度を育てる。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	388,907 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概 要	決算額(円)
<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで考える人権のつどいの開催 期間：7月～3月 会場：18地域コミュニティ交流センター 演題：「暮らしの中の人権～支え合い共に生きる～」 講師：二又 茂樹（社会教育指導員）・嘉戸 哲治（学校教育指導員） 参加者数延べ：323人 ●地域別人権問題研修会の開催 演題：「出会いから学ぶ」 講師：高田 美樹 ：1月17日 桜江中学校 参加者数：68人 ：2月23日 江東中学校 参加者数：73人 ●人権・同和教育主任等研究協議会の開催 期間：6月・11月・2月（年3回開催）（参加者数延べ：93人） 内容：講演・分科会 	224,540
<ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発作品展の開催（応募数170点 表彰数39点） 期間：12月1日～10日 会場：市総合市民センター（エントランスホール） 内容：人権イラスト・作文・メッセージの展示 表彰式：各学校 消耗品費：164,367円（応募作品記念品等） 	164,367
合 計	388,907

○事業の効果

市内地域コミュニティ交流センターの巡回講演と地域別人権問題研修会を開催し、より一層の人権教育の推進が図られた。児童・生徒が自ら人権メッセージを作成・発信することで、問題意識の醸成と、人権を互いにかつ多角的に考える機会を得ることができた。



主任等研究協議会（分科会）



人権啓発作品展

事業名	社会教育活動費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費			1,154,128 円		事業の目的・目標	生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		1,154,128 円					

施策の内容、実績、及び効果

1 出前講座 74,520 円

○ 事業の内容

● 出前講座

市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけお話しする。

○ 事業の実績

● 実施件数および参加者数

平成29年7月～3月 116件 3,176人 (平成28年度 113件 3,789人)

○ 事業の効果 【受講者・アンケートより】

- ・ とても勉強になりました。地震が起きる起きないにかかわらず、まず自分や家族を守るためにできることがたくさんあることが分かりました。早速実践します。
- ・ 予防救急について今一度の確認ができてよかったです。分かっているつもりが一番油断するので、大慌てすることのないようしっかりと身に付けていきたいと思いました。
- ・ 近くにこんなすばらしい場所があったのに知らずにいて残念でした。もっと早く知っていたらよかったですと思いました。また、機会があるごとに勉強したいと思います。

○ 事業費の内訳

印刷製本費（出前講座メニュー表）	74,520 円
------------------	----------

2 地域活動支援事業 700,000 円

○ 事業の内容

女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験演習、見学など幅広い活動を行う。

○ 実施主体

江津市連合婦人会、各地域9婦人会

○ 事業の実績

● 実施件数および参加者数

79回 4,375人

○ 事業の効果

各地区の中核とし、様々な問題に女性の感性である包容力をもち備え、「元気・勇気・感動」のいきいきとした町づくりに向け自己研鑽に努め、明るい安全・安心な住んでよかったですと言えるような社会づくりに積極的に努めている。

今年度は全国地域婦人団体研究大会が松江市で開催され、105名の会員が参加し、スタッフとしてもこの大会を経験することができた。

○ 事業費の内訳

委託料（各地区へ25,000円、連合会475,000円）	700,000 円
------------------------------	-----------

事業名	ふるさと教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費			930,000	円	事業の目的・目標	学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金		930,000	円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

全小中学校において実施した。
 地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が活かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。
 小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。
 中学校では、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

○事業の効果

- ・地域とのふれあいで、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・地域の伝統芸能や、伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ふるさと教育に関わる地域の方も、子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さや、やりがいを実感できた。
- ・ふるさと江津への愛着を深める活動になった。

○事業費

	ふるさと教育の経費（円）		計（円）
	報償費	活動経費	
郷田小学校		70,000	70,000
渡津小学校	20,400	49,600	70,000
江津東小学校	6,000	64,000	70,000
川波小学校		70,000	70,000
津宮小学校		70,000	70,000
高角小学校	21,000	49,000	70,000
桜江小学校	9,600	60,400	70,000
江津中学校		70,000	70,000
江東中学校	19,200	50,800	70,000
青陵中学校	15,200	54,800	70,000
桜江中学校	20,400	49,600	70,000
教育委員会事業費	40,000	120,000	160,000
計	151,800	778,200	930,000

事業名	学校支援地域本部事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費			778,820 円	事業の目的・目標	「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		519,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		259,820 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

近年のいじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。また、学校教育においては、教育活動以外等の業務が増加しており、教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担を軽減するなど、積極的に時間外勤務を縮小し、教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ、地域全体で「次世代を担う子ども」の学校の教育活動や放課後の活動を支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし、学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

○事業の実績

1. 各小中学校においての学校支援ボランティアへの取組み

- ①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材ほりだし
- ②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介
- ③登下校時の安全指導員の調整
- ④学校環境整備活動の人員確保
- ⑤放課後子ども教室との連携
- ⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介

2. コーディネーター等連絡会議（1回）

【3/23】

①学校支援地域コーディネーター、放課後支援コーディネーター、親学ファシリテーターの合同連絡会議を開催

3. 各種研修会への参加

- ・支援活動事業数 : 合計 882日
- ・参加人数（延べ） : 合計 8,990人

○事業の効果

- ・地域コーディネーターの活動により、地域コミュニティ組織と連携しながら学校支援活動を行っているところもあり、参加者も増加傾向にある。
- ・ふるさと教育、放課後支援、キャリア教育にも、コーディネーターが関わるようになり、社会教育事業の核となっている。

○事業費の内訳

費目	教育支援活動の経費（円）	内容
諸謝金	515,200	コーディネーター活動謝金
旅費	5,160	研修会、地域協議会出席者旅費
需用費	169,120	会議資料紙代等消耗品
役務費	89,340	ボランティア連絡用切手
計	778,820	

事業名	未来を拓く江津塾事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率 100 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課	社会教育係		目	06	社会教育活動費
事業費		5,096,460 円	事業の目的・目標	近年、「学力低下」「理科離れ」「教育格差」が課題となっている中、江津市の子どもたちに体験型コンテンツを用いて、江津ならではの特色のある人間力・人材育成を行うとともに、江津の文化や産業及びコミュニティーを支える若者を育てていくため、地域で生まれた子どもは地域全体で育て地域で生かすという「ふるさと教育」の推進を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	4,500,000 円				
	その他	157,500 円				
	一般財源	438,960 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・ロボット制御を通じて、観察力・問題解決能力・論理的思考法の習得、コミュニケーション能力の向上と語学力の発達を図る。
- ・小学生のための楽器体験教室を通して、楽器に親しめる環境をつくり、併せて指導者として中学生を活用して自己有用感・コミュニケーション能力の育成も図る。
- ・子ども同士の共同生活や、家庭と離れた生活、親でもなく、教師でもない大人との関わりの場を「通学合宿」のなかで意図的に用意して、学校と家庭の行き来だけでは出来ない体験を創出する。

○事業の効果

- ・サッカーロボット教室では、プログラミングによるロボット操作を経験し、科学に対する関心を高めることができた。コーチ、役員等には地元の方に協力いただいております、地域の人材による子どもを育てる体制ができています。ロボットサッカー大会は江津ノード、島根県大会、全国大会を経験し、子どもたちにとっての大きな経験と夢を与えた。
- ・キッズミュージックスクールは、学校以外の場で音楽や楽器に触れることができない、子どもたちへの「セーフティネット」としての役割を果たすことができました。また、指導者として、小学生と関わりが得られる中学生のコミュニケーション能力の育成や自己有用感の醸成にも役立っている。
- ・通学合宿には、市内全小学校から108名が参加し、児童同士の共同生活を実施し、規則正しい生活習慣や学習習慣が養われ、地域や保護者もボランティアとして参加し、大人へのふるまいを意識しながらの活動を行った。

○事業費

費目	金額 (円)	備考
報償費	153,000	通学合宿 ボランティア謝金
消耗品費	41,000	通学合宿 消耗品
食糧費	424,640	通学合宿 朝食・夕食代
通信運搬費	8,000	通学合宿 郵券代
委託料	4,371,000	NPO法人てごねっと石見
使用料及び賃借料	98,820	通学合宿 バス借上料等
合計	5,096,460	

事業名	放課後子ども教室推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費			7,864,038 円	事業の目的・目標	学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備すること。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていくこと。保護者自身も、単に便利なサービスを受取る側に回るのでなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくこと。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		5,242,000 円					
	地方債		円					
	その他		2,622,038 円					
一般財源		円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業）
放課後等に地域の公民館等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

○事業の実績

名称	校区	年間実施日数
・郷田っこひろば	(郷田小学校区)	33 日
・アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	3 日
・渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	27 日
・江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	133 日
・跡市放課後子どもクラブ	(跡市小学校区)	240 日
・波っ子クラブ	(川波小学校区)	9 日
・有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	42 日
・都野津子ども教室	(津宮小学校区)	6 日
・二宮集いの家	(津宮小学校区)	223 日
・つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	225 日
・角っこひろば	(高角小学校区)	57 日
・川越安心ひろば	(桜江小学校区)	43 日
・桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	468 日
・お茶のま食堂	(川波・津宮小学校区)	2 日
		合計 1,511 日

○事業の効果

- ・学校、家庭、地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。
- ・放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりのなかで、相互に成長が見られる。
- ・集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- ・そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。
- ・地域住民の参画：のべ4,165人　子どもの参加：のべ23,754人

○事業費の内訳

費目	金額(円)	内容
報償費	7,364,400	各教室コーディネーター等謝金
旅費	9,690	研修会等旅費
需用費	299,000	各教室消耗品等
役員費	190,948	各教室コーディネーター等保険料
計	7,864,038	

事業名	放課後児童クラブ事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費						64,756,981	事業の目的・目標 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。	
財源内訳	国庫支出金				17,291,000	円		
	県支出金				17,291,000	円		
	地方債					円		
	その他				26,357,490	円		
	一般財源				3,817,491	円		

施策の内容、実績、及び効果

○ 事業の内容、実績

費目	金額 (円)	備考
報酬	5,620,492	指導員報酬
共済費	892,042	指導員共済費 (社会保険他)
賃金	293,160	補助員
旅費	59,160	職員旅費
需用費	593,842	消耗品、光熱水費、修繕料他
役務費	185,121	通信費、損害保険料他
委託料	57,080,224	運営委託 (高角、渡津、江津東は7月～) 浄化槽管理81,000円ほか
使用料及び賃借料	0	
工事請負費	0	
備品購入費	32,940	座卓兼用テーブル (江津東)
負担金及び交付金	0	
合計	64,756,981	

3月31日現在

児童クラブ名	入所児童数					合計
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	
津宮放課後児童クラブ	5	21	21	12	2	56
高角放課後児童クラブ	6	23	13	20	4	60
江津東放課後児童クラブ	3	8	11	8	3	30
桜江放課後児童クラブ	4	13	6	6	6	31
渡津放課後児童クラブ	3	10	12	5	1	28
川波放課後児童クラブ	2	9	9	3	3	24
郷田放課後児童クラブ	3	9	7	7	11	34
計	26	93	79	61	30	263

○ 事業の効果

放課後及び長期休暇中の子どもの安全と健全な育成を推進し、保護者の就業支援に寄与している。

事業名	土曜の教育支援活動推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費			1,756,715 円		事業の目的・目標	土曜日や長期休暇などに、地域の力を活用して児童生徒の学習を支援する体制を整備すること。児童生徒の学力補償や、学びのセーフティネット対策とともに、地域活動の活性化に資する活動の推進すること。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		1,171,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		585,715 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

土曜日や長期休暇などに、地域の力を活用して児童生徒の学習を支援する体制と仕組みをつくり、児童生徒の学力補償や、学びのセーフティネット対策とともに、地域活動の活性化に資する活動を推進する。

- (1) 地域住民が学校施設や公民館等で、児童生徒の宿題や自学の支援
- (2) 地域住民を講師に公民館等で、地域の歴史学習やものづくり

○事業の実績

名称	校区	年間実施日数
・ 都治地区サタデースクール	(江津東小学校区)	9 日
・ 浅利地区サタデースクール	(江津東小学校区)	10 日
・ 渡津地区サタデースクール	(渡津小学校区)	9 日
・ 郷田地区サタデースクール	(郷田小学校区)	9 日
・ 嘉久志地区サタデースクール	(高角小学校区)	8 日
・ 和木地区サタデースクール	(高角小学校区)	8 日
・ 都野津地区サタデースクール	(津宮小学校区)	9 日
・ 二宮地区サタデースクール	(津宮小学校区)	10 日
・ 跡市地区サタデースクール	(津宮小学校区)	9 日
・ 集いの家サタデースクール	(津宮小学校区)	9 日
・ 有福地区サタデースクール	(川波小学校区)	9 日
・ 波子地区サタデースクール	(川波小学校区)	10 日
・ 敬川地区サタデースクール	(川波小学校区)	9 日
・ 長谷地区サタデースクール	(桜江小学校区)	8 日
・ 市山地区サタデースクール	(桜江小学校区)	9 日
・ 川戸地区サタデースクール	(桜江小学校区)	8 日
・ 谷住郷地区サタデースクール	(桜江小学校区)	7 日
・ 川越地区サタデースクール	(桜江小学校区)	8 日
合計		158 日

○事業の効果

- ・ サタデースクールを通して地域と子どもたちのつながりが出来た。
- ・ 土曜日に学習時間を設けることで休日の学習習慣が身についた。
- ・ 地域住民の参画：のべ778人　子どもの参加：のべ1,435人

○事業費の内訳

費目	金額(円)	内容
報償費	1,294,000	各教室コーディネーター等謝金
旅費	29,990	研修会等旅費
需用費	284,601	各教室消耗品等
役務費	148,124	各教室コーディネーター等保険料
計	1,756,715	

事業名	ふるさとキャリア教育推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 28 年度	事業進捗率 40 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課	社会教育係		目	06	社会教育活動費
事業費		6,700,000 円	事業の目的・目標	地域の「ひと・もの・こと」をいかした学習活動をとおして、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、今の学びと未来の生活のつながりを常に意識して、子どもたちの自立を目指す教育を推進する。		
財源内訳	国庫支出金	3,350,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	3,350,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・ 地域や異文化との交流事業
- ・ 地域企業（団体）との連携事業（体験活動など）
- ・ 地域を知るための自然体験・学習活動
- ・ 職場見学、職場体験
- ・ 地域の教育力と連携した放課後、土曜日等に行う学習活動
- ・ 地域の保育・教育施設（異施設種）との横や縦、斜めのつながりを創るための活動
- ・ 先進的な取組みを実施しているキャリア教育に関する研究者・従事者を招いた講演

○事業の効果

- ・ ふるさとの文化や歴史、自然人々について学び、ふるさとへの愛着や誇りを育て、ふるさとへ貢献しようとする意欲と態度を育成することができた。
- ・ 児童、生徒が周囲の人、ふるさとの大切さに気付くとともに、ふるさとに支えられている存在であるということが認識できた。
- ・ 地域の人材が「我がまちの学校」として、学校を末永く支援してくれる体制づくりができた。
- ・ 地域、企業と学校との連携だけでなく、小学校と高等学校、保育所と中学校、大学校などの市内保育・教育機関との連携が活発になった。

○事業費 NPO法人 「てごねっと石見」 に委託。 委託料 6,700,000円

費目	金額（円）	備考
報 償 費	1,503,003	講師報償費
旅 費	238,042	講師旅費・宿泊料等
需 用 費	1,623,808	消耗品他
役 務 費	117,605	通信運搬費、支払手数料
借 上 料	307,121	車両借上料、会場借上料
委 託 料	119,375	教室運営委託料
事 業 経 費	2,791,046	事務費、消費税等
合 計	6,700,000	

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		文化スポーツ振興係		目	08	文化財保護費	
事業費			18,534,756 円	事業の目的・目標	埋蔵文化財の保護・活用			
財源内訳	国庫支出金		8,000,000 円					
	県支出金		8,999,500 円					
	地方債		円					
	その他		16,868 円					
	一般財源		1,518,388 円					
施策の内容、実績、及び効果								
○施策の内容 文化財保護法に基づく開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準に則して、必要な埋蔵文化財調査を実施する。また、出土品を適切に取り扱い、活用に資する。								
○施策の実績								
●本町川改修工事（発掘調査）								
・島根県浜田県土整備事務所委託事業（100%補助）								
・内容：本町川 県単河川緊急整備事業河川改修工事に伴う記録保存を目的とした発掘調査								
・委託期間：平成29年4月18日～平成30年3月26日								
・決算額：1,200,704円（委託金額：1,200,000 円）								
・需用費：1,052,804円、役務費147,900								
●八神・太田農地環境整備事業埋蔵文化財発掘調査報告書作成事業								
・島根県浜田県土整備事務所委託事業（95%補助）								
・内容：八神・太田農地環境整備事業に伴う記録保存を目的とした発掘調査								
・委託期間：平成29年4月24日～平成30年3月23日								
・決算額：8,220,057円（委託金額：7,799,500円）								
共済費：319,550円、賃金：2,845,120円、旅費：19,480円、需用費：1,442,668円								
役務費：158,814円、使用料及び賃借料3,434,425円								
●八神上ノ原Ⅱ遺跡発掘調査事業								
・国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所委託事業（100%補助）								
・内容：一級河川江の川直轄河川改修事業（八神上流地区）に伴う記録保存を目的とした発掘調査								
・委託期間：平成29年5月31日～平成30年3月31日								
・決算額：7,045,864円（委託金額：7,000,000円）								
共済費：504,805円、賃金：4,257,096円、旅費：2,400円、需用費：970,499円、役務費：162,248円								
委託料：353,160円、使用料及び賃借料：795,656								
●遺跡発掘調査費								
・国庫補助事業（50%補助）								
・内容：開発に伴う緊急試掘調査、木製品保存処理								
・期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日								
・決算額：2,068,131円（補助金額：1,000,000円）								
共済費：1,599円、賃金：529,806円、需用費：4,285円、役務費：3,161円、委託料：1,529,280円								
○施策の効果								
・開発に伴う発掘調査、及び緊急試掘調査に関しては、事業者・住民と協議を重ねて文化財保護行政についての理解を得、当初定められた期間内に100%実施することができた。								
・調査の内容については、5遺跡の本報告書を作成・刊行し、今後の活用に資することができた。								
・調査の成果は、出前講座等により、住民への情報提供を行った。								

事業名	水の国管理事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		文化スポーツ振興係		目	09	生涯学習施設管理費
事業費			12,343,308 円	事業の目的・目標	市民の文化意識を啓発し、創造力、鑑賞力の向上に努め、文化活動の振興を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		671,250 円				
	一般財源		11,672,058 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

区分		決算額 (円)	備考
水の国・松林宗恵映画 記念館業務委託事業	指定管理料	12,312,000	人件費、光熱水費、設備保守等
	小計	12,312,000	
一般管理費	役務費	28,308	火災保険料等
	負担金	3,000	しまねミュージアム協議会負担金
	小計	31,308	
合	計	12,343,308	

●入館者及び入館料

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館者 (人)	95	364	105	168	604	128	138
入館料 (千円)	31.6	116.8	35.9	51.6	151.2	42.0	46.5
区分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入館者 (人)	129	53	51	57	251	2,143	人
入館料 (千円)	41.9	14.1	18.2	18.7	67.6	636.3	千円

松林宗恵映画記念館入館者数 2,322人

●事業報告

- ・ふるさと市 平成29年5月3日
- ・水の国ランウェイ 平成29年5月3日
- ・鮎のつかみ取り・森林教室 平成29年8月13日
- ・田中敬二×周藤豊治展 平成30年2月15日～3月19日

○事業の効果

各種事業を年間を通じて開催することにより、集客に一定の効果が図られた。

事業名	学校給食費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	06	保健体育費
担当部署	学校教育課		管理係		目	02	学校給食費	
事業費		115,331,200 円		事業の目的・目標	安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		2,700,000 円					
	その他		0 円					
	一般財源		115,331,200 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

	学校名	実施日数（日）	実施食数（食）
配食実績	郷田小学校	193	22,554
	渡津小学校	196	21,002
	江津東小学校	196	22,817
	川波小学校	195	17,772
	津宮小学校	195	65,682
	高角小学校	194	52,753
	桜江小学校	197	23,634
	江津中学校	183	42,693
	江東中学校	197	14,160
	青陵中学校	192	51,432
	桜江中学校	195	12,912
	江津幼稚園	135	6,534
	江津学校給食センター	199	4,892
	桜江学校給食センター	201	1,013
		合計	2,668

○事業の実績

費目	内容等	金額（円）
報償費	謝礼金	20,300
需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	30,895,466
役務費	電話料等	2,008,518
委託料	給食車運転業務委託料等	10,910,754
使用料及び賃借料	C A T V、印刷機使用料等	485,987
備品購入費	調理用備品等	3,534,342
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	67,346,433
公課費	給食車重量税	129,400
	合計	115,331,200

○事業の効果

衛生管理の徹底がいっそう向上するように、調理員をはじめ学校給食に関わる職員を対象に衛生管理研修を行った。

食物アレルギーのある児童生徒に対しては、平成29年3月に策定した「江津市学校給食における食物アレルギー対応ガイドライン」に基づき、アレルギー対応食の提供を行った。これまでは、原因となる特定原材料27品目全てに対応していたが、給食を提供する際の「安全性」を確保するため、平成29年度より、原因食物の完全除去対応を原則とし、特定原材料のうち「卵・えび・かに」のみ対応する方針にあらためることにより、安心安全な学校給食を提供することができた。安全かつ確実な対応食を保障するため、調理作業や人員配置の見直しを行った。